

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

名古屋フィルハーモニー交響楽団

第370回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン
〈「都市と音楽」シリーズ〉
マドリード

Nagoya Philharmonic Orchestra The 370th Subscription Concert
2010.4-2011.3 Season 'Madrid' from "City and Music Series"

2010 **6.18** (金) **6.19** (土)
6:45pm 開演 4:00pm 開演
(6:00pm 開場) (3:15pm 開場)
Jun. 18 (Fri.) 6:45pm Jun. 19 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

Photo: Shigeto Imura



【指揮】
川瀬賢太郎
Conductor: Kentaro KAWASE

【ギター】
福田進一*
Guitar: Shin'ichi FUKUDA*

【メゾ・ソプラノ】
藤井美雪**
Mezzo-soprano: Miyuki FUJII**

マーラー: 花の章
G. Mahler: Blumine

ボッケリーニ/ベリオ:
『マドリードの夜の帰営ラッパ』の4つのオリジナル版
L. Boccherini / L. Berio: Four Original Versions of "Ritirata Notturna di Madrid"

ロドリゴ: アランフェス協奏曲*
J. Rodrigo: Concierto de Aranjuez*

ファリャ: バレエ『三角帽子』全曲**
M. Falla: The Three Cornered Hat (Complete Ballet)**

2010
名古屋
開府
400年

1回券料金(税込)

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000
C席 ¥3,000 D席 ~~¥2,000~~ 完売
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年4月7日(水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介添人1名様まで可)対象
ユース割引 / S~D席を20%割引
24歳以下の方(学生・社会人を問いません)対象
※大学生協でも取扱
車椅子席 / A席を20%割引(¥4,000) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel.052-339-5666

http://www.nagoya-phil.or.jp/ 名フィル 検索

主催:財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後援:愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・朝日新聞社・メ〜テレ

Profile

指揮

川瀬 賢太郎

Conductor
Kentaro KAWASE

Photo: Shigeto Imura



1984年、東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2003年、東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)に入学。これまでに、ピアノ及びスコアリーディングを島田玲子、指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン・ミョンフン、アーリル・レンメライトの各氏に師事。

2005年、レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート2005に出演。また、東京音楽大学弦楽アンサンブル“アンサンブル・エンドレス”を指揮。2006年、アジア・フィルハーモニー管アカデミーの指揮ワークショップに参加。

2006年10月に行なわれた東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最高位)に入賞し、2007年3月には入賞者デビューコンサートで神奈川フィルおよび大阪センチュリー響を指揮。その後、東京響、日本フィル、読売日響、札幌響、群馬響、名フィル、九州響、イル・ド・フランス国立管などから招かれる。また、2007年から3年連続でパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)のアシスタント・コンダクターを務める。

まだ20代半ばの若さだが、間違いなく、現在最も今後の活躍が期待されている指揮者である。

ギター

福田 進一

Guitar
Shin'ichi FUKUDA



1955年大阪生まれ。12歳より故斎藤達也に師事。21歳で渡欧、パリのエコール・ノルマル音楽院でギターをアルベルト・ボンセ、和声とアナリーゼをナルシス・ボネに師事。卒業後イタリア・キジアーナ音楽院でオスカー・ギリアに学ぶ。数々の国際コンクール入賞後、1981年パリ国際ギター・コンクールで優勝。以後、内外で輝かしい賞歴を重ねるとともに、日本を代表する名手として国際的な演奏活動を続け、その音楽は絶えず世界中のファンを魅了している。

教育活動にも力を注ぎ、その門下から鈴木大介、村治佳織、大萩康司ら若手実力派を輩出。現在は、世界各地の音楽院に客員教授として招かれている。

2009年には、4月に上海フェスティバル、5月ハインズベルク国際フェスティバル(ドイツ)に出演。8月のHakujuギター・フェスタではファジル・サイの新作ギター曲を、9月には北爪道夫の新作協奏曲を世界初演。12月には、レオ・ブローウェルに献呈された「コンチェルト・ダ・レクイエム」を台北にてアジア初演。

ディスコグラフィは既に50余枚に及び、それらはピアノ・オド楽器を使用したバロックや古典から、タンゴやフュージョン、映画音楽にいたるまで、広大なレパートリーを網羅している。



Mezzo-soprano

藤井 美雪

Miyuki FUJII

大阪芸術大学演奏学科音楽科卒業。在学中『修道女アンジェリカ』の公爵夫人役に抜擢されオペラ・デビュー。『蝶々夫人』スズキ役は、日生劇場神戸公演、ソウル・オペラハウス(芸術の殿堂)柿落し公演のほか、広島、韓国テグ市での日韓合同公演にも出演し、演技力とともに高く評価された。

被爆60年には細川俊夫作曲/指揮『ヒロシマ・声なき声』(日本初演)で唯一のアルト・ソロを担当。2009年ミラノでの現代音楽祭「ミラノ・ムジカ」において、アンドレア・ペスタロッツァ指揮/イタリア国立放送管の演奏で同曲のソリストを務め好評を博した。

<「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第370回定期演奏会 「マドリード」

..... 柴田 克彦(音楽ライター)

6月は、いま飛ぶ鳥を落とす勢いの川瀬賢太郎が定期初登場。2006年東京国際音楽コンクールの最高位で注目を集め、20代半ばながら国内外で飛躍を続ける彼のテーマは「マドリード」。当然色彩感溢れる作品が揃う。マラー「花の章」は、題名通りの儂く美しい音楽。ボッケリーニのギター五重奏曲に基づくベリオ作品ともども生演奏は貴重だ。「アランフェス」では、ギターの第一人者・福田進一が何と定期に初登場し、極め付けの名奏を聴かせる。『三角帽子』は全編スペイン情趣満載。歌付き全曲版の演奏は珍しいので、広島で活躍する藤井美雪の歌唱ともども期待が高い。さて、今後世界に名を成すであろう川瀬の棒さばきやいかにか? これは未来を先取りした公演でもある。

その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード:103-293).....0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド...052-972-0430
ナディアパークプレイガイド.....052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
お申込み:ポピンスサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
(演奏会の3日前(土・日・祝をのぞく)まで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしておりません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分

名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>